



目次

●—ごあいさつ—	2
●—活動報告—	4
●—職場紹介— 「診療放射線室」	6
●—診療連携— 「退院支援検討会・地域連携研修会について」	7
●—新任医師紹介—	8
●—新入職員紹介—	10
●—アクセスのご案内—	12

ごあいさつ

副院長就任のご挨拶



鹿児島市医師会病院
副院長 鳥居博行

4月1日付けで新設の臨床部門の副院長を
拝命しました鳥居です。当院が開院してから
1年9ヶ月を経過した昭和61年3月1日に着
任しましてから、はや30年が経過しました。
この間いろいろなことがありましたが、まず
は着任した当日のことが思い出されます。急
患が連続し、次々に入院となり、ようやく自
宅に戻れたのは火曜日の夜でした。とにかく
急患の多い、忙しい病院でした。当時の病院
経営は順風満帆であり、今日のような苦しい
経営状態がやってくるなど、想像したことも
ありませんでした。新臨床研修制度が始まっ
た頃には特に問題はなかったのですが、その
影響はボディブローのように現れてきました。
平成20年代に入り、当院では診療科や医師数
の減少が始まり、平成23年度以降は赤字基調

となってしまいました。改善策として、平成
25年に緩和ケア病棟を、平成26年度に地域包
括ケア病棟を開設し、またリハビリテーショ
ン部門の強化を行うべくスタッフの増員を行
い、経営改善の努力を続けてきました。ただ
肝心の医師数の減少には歯止めがきかず、常
勤医も高齢化してきています。診療部におい
ては平成27年後から、全国平均値から算出し
た診療科別入院患者数の努力目標を設定しま
した。電子カルテを開くごとにリアルタイム
の各科入院患者数が表示され、常なる努力を
鼓舞する仕掛けとなっています。様々な方策
を積み重ね、徐々に経常赤字も改善をしてき
ていますが、依然抜け出すには至っておりま
せん。

大変な時期に重積を拝命したと思っていま
す。微力ではありますが自分でできる事はど
んなことでもする所存です。皆様にはこれま
で通り、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願
い申し上げます。

事務部長就任のご挨拶



鹿児島市医師会病院
事務部長 吉村達也

このたび4月1日付で事務部長の職を拝命しました。これもひとえに支えてくださった皆さまのお蔭です。心より感謝申し上げます。

しかし、その責任の重大さに、私にそのような大任が務まるのか不安を感じておりますが、今後も皆さんのお力添えをいただきながら、これまで以上に鹿児島市医師会病院の発展のために頑張ってまいります。

昨年度は、在宅療法後方支援病院としての運用を開始し会員医療機関からの速やかな在宅患者様の入院受入・在宅復帰に向けた医療支援体制を構築しました。その他にも人間ドック・検診事業の拡充や、業務内容の見直し・改善、各種経営指標の活用に取り組んでまいりました。

診療・収支実績は年間での比較では微増となっておりますが、昨年末からの病床稼働や収支実績は顕著に改善しております。

本年度は、今までの取り組みを軌道に乗せることはもとより、経営改善・安定に向けて以下の事を特に課題とし、取り組んで参ります。

・診療・収支実績等各種データを基に有効な対策案の作成・発信

各診データを基に「根拠に基づく」経営対策を行います。

・院内・院外関係機関との連携を促進

「外部連携」を充実させるには、まずは「内部連携」が出来ていなければなりません。患者様により良い医療を提供するために、職種を超えて職員同士のコミュニケーションを深め、連携を行います。

・効率的な業務改善

反復作業であっても、同じ事の繰り返しでは、何も進展しません。今行っている業務の「意味」を考える事によって、効率的な業務改善も出来ると思います。

・今を過ごすために将来を意識する

医師会病院の運営を継続するためには、今そして近い将来必要な事は何なのか、情報を意識・検討します。

これらを実行し、会員の先生方から安心してご紹介していただける医師会病院を継続するため努力してまいります。

おわりに、至らない点多々あると思いますが、皆様方からの意見に公平公正に真摯に耳を傾け、微力ながら全力にて業務に取り組んでいく所存ですので、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

活動報告

熊本地震でのDMAT活動報告



鹿児島市医師会病院
副院長 有村 敏明

今回の地震は2016年4月14日午後9時26分に発災した。我々鹿児島市医師会DMATチームは、その日に出発すべく県当局からの派遣要請を待った。待機中に米盛病院の富岡先生から先発隊としてチーム構成を行い出発する旨の連絡があったが、我々は県の派遣依頼を待った。

15日午前1時過ぎに県から連絡があり、医師会病院チームは私有村、中馬看護師、川畑看護師、折田看護師、前野業務調整員の5名で熊本へ向かった。

鹿児島インターから高速道路を径由して進んだが、えびのジャンクションから高速道路の実害が出ている松橋まで緊急車両のみの許可使用であった。

その後は国道を参集拠点である熊本赤十字病院へ向かった。熊本赤十字病院には我々が到着した時には多くのチームが参集し我々は52番目の到着で、指示があるまで待機せよとの事であった。8時に至り、救急車を持って来ているチームに入院患者の搬送依頼の指示が出された。希望ヶ丘病院の入院患者を東稜高校体育館へ搬



送する事であった。この病院は精神科の病院で、地震によりライフラインの停止、また病院崩壊の危険があるとのことで、急遽搬送する状況となったのである。入院患者は約230名いたが、寝たきりや車椅子が必要な患者は20名前後で、この患者の搬送が我々の使命であった。搬送チームは6病院に依頼され1チームそれぞれ1ないし2名の患者を搬送する事となった。医師会病院チームは1名の患者を搬送したが、その後東稜高校から管理に問題がある患者を熊本医療センターへ再度搬送した。

このミッションを終えて熊本赤十字病院にて待機していたが、鹿児島DMAT調整本部の統括が不在な事に気づき、夕方赤十字病院を撤収し夜鹿児島市医師会病院に帰還した。翌日より県庁内にDMAT調整本部を立ち上げ、DMAT本部、熊本現地本部との調整業務を開始した。

熊本地震 JMAT 報告



鹿児島市医師会病院
診療部長 大迫 政彦

当院の JMAT 第二陣は 4 月 29 日～5 月 1 日の 3 日間、医師 2 名（大迫、小徳）、看護師 2 名（図師、中堀）、事務調整員 1 名（福留）で派遣されました。



地震発生後 2 週間を経過した現地の状況、JMAT の活動について報告します。

私達が派遣されたのは最も被害が大きかった東区、中央区の西側に位置し、有明海に面する熊本市西区でした。区内には約 40 か所の避難所があり、区役所内に設置された統括本部が情報収集と JMAT チームの管理にあたっていました。すでにライフラインは概ね回復し、医療機関は診療を再開していましたが、避難所では多くの人達が仕切れない床の上にダンボールを敷いただけで休んでいました。この時期における JMAT の主な任務は、避難所の医療・衛生環境の整備と「エコノミークラス症候群（深部静脈血栓症（DVT）」の啓発・予防でした。私達は 3 日間で仮設診療所のある大規模避難所（約 500 名）1 か所と、中小避難所（30 名～150 名）3 か所に支援を行いました。

正規の避難所には自衛隊が派遣され支援を行っていましたが、非正規の避難所はボランティアによる支援が主体で、避難所毎の支援の格差が問題となっていました。但しどの避難所でも、プライバシーのない狭い環境で寝泊まりし、食生活は非常食が中心

であることに変わりはなく、一日も早い生活環境の整備（仮設住宅など）が必要な状況でした。

劣悪な環境下で避難が長期化することにより、多くの方が精神面で不安定となり、避難者同士でのトラブルも起きていました。カウンセリングなどが必要な方も複数おられたため、DPAT（災害派遣精神医療チーム）の支援をお願いしました。また子供達にも少なからず影響が及び、避難中に心身共に不安定となり児童相談所に連絡した事例もありました。さらに在宅酸素療法中の患者、外来化学療法中の患者も避難されており、一次的な転地療養なども提案しました。



避難中の高齢者に声をかけると、「余震が多くて家に帰るのが心配です。ここを離れる気になれません。」「地震発生後は一度も入浴していません。」などの声が聞かれ、物心ともに血の通った支援の大切さを感じました。

避難所生活を続けながら通院治療を受けている高齢者を前にすると、「しばらく鹿児島に避難しませんか？」などと声をかけたくります。しかし被災者の方々と会話していると「大丈夫ですよ。元気になっています。わざわざ遠くからきてくれてありがとうございます。」とお礼を言われました。海外からも称賛される日本人の辛抱強さを垣間見たような気がしました。

被災地では全国から集まった復興ボランティアと共に後片付けが始まり、市内のいたる所にゴミの山ができていました。周辺自治体、自衛隊などの積極的な支援継続が必要だと思われました。

今回の派遣は熊本地震を対岸の火事と思うことなく明日は我が身と考えて、災害に備える心構えを痛感する貴重な経験となりました。ご協力を頂いた皆様に感謝致します。



職場紹介

「診療放射線室」のご紹介



鹿児島市医師会病院
診療放射線室室長 齊藤 二郎

診療放射線室は現在10名の放射線技師（男性8名、女性2名）と受付1名で構成されています。業務内容は一般撮影、乳腺検査、胃X線検査、CT、MRI、RI、血管造影検査、心臓カテーテル検査など多岐にわたっております。私共の役割は最終診断の病院として会員の先生方や患者様に納得していただける質の高い画像情報を提供することにあります。そのため技師1人ひとりが意識改革をし、患者様満足度の高い実践策を具体的にどのようにするかを考え、いつも新しい知識・技術を取得するための継続学習を行っております。国家資格として第1種放射線取扱主任者、第1種作業環境測定士、日本診療放射線技師会認定では臨床実習指導者教員、放射線機器管理士、放射線管理士、医用画像情報管理士、その他に保健衛生学士など医療に関連する資格の取得も奨励しております。

勤務態勢は夜間、休日は当直制となっており救急時は全ての検査に対し迅速な対応が可能です。機器の高性能化に伴い検査の専門性を損なわないように各装置に対し技術の向上を図っております。

CT検査では装置からの情報をもとにワークステーションを活用しております。最も特徴的な利点は超精密な3D画像処理が可能であることです。これによって、病変を立体的に把握するのが容易となり、診断や手術支援に大きく貢



献しています。しかも大血管、呼吸器、消化器領域、脊椎、四肢骨など多種多様に应用でき、従来は、撮影が困難であった心臓（冠動脈造影）にも適用し、狭心症や心筋梗塞の予防に役立っています。

RI検査では心筋シンチグラフィや骨シンチグラフィの他、認知症検査としても2種類実施しております。一つ目はダットスキャンですが、この検査の対象はパーキンソン症候群、レビー小体型認知症でそれらにおける黒質線条体ドパミン神経の脱落の有無を調べることが目的となります。それによってアルツハイマー病など別の認知症との鑑別を行います。二つ目のMIBG心筋シンチグラフィは心臓にこの薬剤が集まる程度を画像で評価して、心不全や心筋症における交感神経機能の低下や回復の程度を診断するのに使われます。パーキンソン病などの自律神経障害を示す疾患では、この薬剤が心臓に集まらなくなることが知られています。これを利用して、パーキンソン病の診断の参考にすることができます。また、レビー小体型認知症でも同様にこの薬剤が心臓に集まらなくなります。一方、アルツハイマー病では、心臓の交感神経機能に変化は無いため薬剤は集積することとなります。このため、認知症の鑑別診断の参考にすることができます。これらの検査は今後、認知症の早期発見、早期治療に大いに期待される検査です。



最近の話題として全ての検査部門において人間ドックのオプション検査の追加をいたしました。当放射線室でも昨年6月より県事業の一環であります低線量CT検査を開始し、また脳ドックにお

いてもMRI検査を格安な検査料でご提供しております。両検査共にご好評をいただき多くの方にご利用頂いております。その他、乳腺撮影においてはマンモグラフィ認定資格を持つ2名の女性技師で対応しています。

最後に近年、医療分野における放射線の利用が急速に拡大し、これに伴い医療で受ける放射線被ばくが社会問題となっております。そのため当放射線室では更なる被ばく低減推進のため各装置を最新のFPD (Flat Panel Detector) へと移行を進めています。これからも限りなく少ない線量で患者様に安心して受診いただくよう日々努力していきたいと思っております。

診療連携

退院支援検討会・地域連携研修会について

鹿児島市医師会病院
医療連携・相談室室長 武 淳一郎

当院の医療連携・相談室では患者様への支援を強化する目的で、退院支援検討会や地域連携研修会を定期的で開催することとし、今年度は年6回企画しました。4月11日(月)には第1回退院支援検討会を開催し、院内各病棟の退院支援看護師や医療連携・相談室の看護師、MSW等の職員が参加しました。

研修内容は鹿児島保健医療圏域退院支援ルールに沿った退院支援の流れや院内でのスクリーニング、アセスメント、マネジメントのシステム紹介と各病棟や医療連携・相談室における業務内容の確認を行いました。

次回は、7月中旬頃に第2回退院支援検討会



を開催し、その後に講師を招いて地域連携研修会を開催する予定です。

準備が整いましたら、会員医療施設へも是非ご案内したいと思います。

新任 医



緩和ケア科 部長待遇

<プロフィール>
(H 28.2.16 ~)

名前 **片井 留美**
出身県 鹿児島県
出身大学 鹿児島大学
前勤務先 CPC 治験病院
趣味 旅行

2月から勤務させていただいています。十数年ぶりの医師会病院ですが早く慣れて貢献できるようにがんばりたいと思います。よろしくお願いします。



放射線科 部長

<プロフィール>
(H 28.4.1 ~)

名前 **上野 和人**
出身県 鹿児島県
出身大学 鹿児島大学
前勤務先 県立大島病院
趣味 サッカー観戦

よろしく願い申し上げます。



神経内科 医師

<プロフィール>
(H 28.4.1 ~)

名前 **正ヶ峯 啓太**
出身県 宮崎県
出身大学 鹿児島大学
前勤務先 厚地脳神経外科病院
趣味 釣り、マンガ、車、バイク、水曜どうでしょう関連、プラモデル

でっかい体です。横に。ドクターの中で一番大きいと思います。何かしゃべりかけてくれたら、いっぱい話します。人見知りですけど、よろしくお願いします。お酒が大好きです。



外科 医師

<プロフィール>
(H 28.4.1 ~)

名前 **緒方 裕樹**
出身県 鹿児島県
出身大学 鹿児島大学
前勤務先 鹿児島大学病院
趣味 車の運転

とても働きやすく、目の前の患者さんに集中できる病院です。微力ながら鹿児島の患者さん達や会員の先生方のお役に立ちたいと思います。



外科 医師

<プロフィール>
(H 28.4.1 ~)

名前 **山下 雄史**
出身県 鹿児島県
出身大学 鹿児島大学
前勤務先 鹿児島大学病院
趣味 テニス

4月から外科に採用されました山下雄史です。初期臨床研修が終了したばかりでまだまだ分からない事が多く、皆様にはご迷惑をおかけすると思いますが精一杯頑張りますので、何卒よろしくお願いします。



放射線科 医師

<プロフィール>
(H 28.4.1 ~)

名前 **佐竹 有貴**
出身県 鹿児島県
出身大学 東京女子医科大学
前勤務先 鹿児島大学病院
趣味 今は育児に奮闘中です

読影力を高めていきたいと思っています。ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

師 紹 介



臨床研修医

<プロフィール>

(H 28.4.1 ~)

名 前 小徳 羅漢
 出身県 茨城県
 出身大学 東京医科歯科大学
 前勤務先 なし
 趣 味 温泉、スポーツ、漫画

茨城→神奈川→東京と関東から出たことが無かったので、思いきって鹿児島に来てみました。旅の恥はかき捨ててはないですが、研修医のうちにたくさん恥をかいて成長しようと思います。どうぞよろしく願いいたします。

【 基本理念 】

患者様の意思と権利を尊重し、会員や地域の医療ニーズに応え、安全で質の高い誠実な医療を提供します。

【 基本方針 】

- 1) 医療を通じて地域社会への貢献
- 2) 救急医療の推進
- 3) 専門性を追求した高度医療の実践と連携の強化
- 4) 予防医学と医療人教育

新 入 職



看護師

<プロフィール>
(H 28.4.1 ~)

名 前 ^{みなみ} 田中 ^{みなみ} みなみ
所 属 看護部 (4階病棟)
趣 味 ショッピング

看護師として、まだまだ未熟で日々学ぶことばかりですが、何事にも素直な姿勢で取り組みたいと思います。よろしくお願ひします。



看護師

<プロフィール>
(H 28.4.1 ~)

名 前 ^{ちやま} 茶園 ^{あや} 彩
所 属 看護部 (4階病棟)
趣 味 旅行

1日1日を大切にすること、努力することを忘れず、患者様と笑顔で接することができる看護師になりたいです。



看護師

<プロフィール>
(H 28.4.1 ~)

名 前 ^{なかしま} 中島 ^{りさ} 莉沙
所 属 看護部 (4階病棟)
趣 味 ドライブ

看護師として必要な知識と技術を身につけ、患者様に安全な看護を提供できるよう日々学びを深めていきたいです。



看護師

<プロフィール>
(H 28.4.1 ~)

名 前 ^{にしだ} 西田 ^{かよこ} 加代子
所 属 看護部 (5階病棟)
趣 味 絵を描くこと

私は、今年から5階病棟に勤務することになりました。看護師という職業に憧れて実際に病棟で働くことになると、自分が想像していたよりもタイムプレッシャーが強くなったり、大変だと感じる事が多くある毎日です。出来ないことがまだまだ沢山ありますが、これから少しずつ覚え手技を身につけて、患者様へより良い看護が提供できるよう努力していきます。



看護師

<プロフィール>
(H 28.4.1 ~)

名 前 ^{はまだ} 濱田 ^{しほ} 志帆
所 属 看護部 (5階病棟)
趣 味 パワースポット巡り

5階病棟に配属となり1か月が経ちました。分からないことばかりですが、優しい先輩方にたくさん教えていただきながら頑張っています。いつも笑顔で元気よくをモットーに頑張ります。よろしくお願ひします。



看護師

<プロフィール>
(H 28.4.1 ~)

名 前 ^{まつやま} 松山 ^{めばえ} めばえ
所 属 看護部 (5階病棟)
趣 味 音楽鑑賞

5階病棟に配属されてから1か月が経ち、まだまだわからない事が沢山で迷惑をおかけしますが、一つ一つ覚えていき立派な看護師となれるように頑張ります。



看護師

<プロフィール>
(H 28.4.1 ~)

名 前 ^{うちうら} 内村 ^{すみ} 捺美
所 属 看護部 (6階病棟)
趣 味 スポーツをすること

多くのことを吸収し成長できる1年にしたいです。初心を忘れず、技術・知識を深められるように努力していきます。また、患者様の気持ちが汲み取れる看護師になれるよう、患者様の気持ちを大切に看護していきたいです。



看護師

<プロフィール>
(H 28.4.1 ~)

名 前 ^{まつむら} 松村 ^{きよひろ} 清大
所 属 看護部 (6階病棟)
趣 味 野球、釣り

患者様やご家族から信頼される看護師を目指し、日々知識・技術を磨きたいと思ひます。患者様一人ひとりに合ったケアが安全・安楽に行えるように頑張りたいです。

員 紹 介



看護師

<プロフィール>
(H 28.4.1 ~)

名 前 ^{みちわき} 瀧脇 ^{りま} 史圭
所 属 看護部 (6階病棟)
趣 味 旅行、ゲーム

学ぶことや覚えることが多く勉強の日々ですが、先輩方のご指導を頂きながら小さなこともコツコツと頑張ります。常に努力と感謝の気持ちを忘れず、患者様が笑顔になれる看護師を目指して励んでいきますので、よろしくお願い致します。



看護師

<プロフィール>
(H 28.4.1 ~)

名 前 ^{いわさき} 岩崎 ^{はるか} 遙
所 属 看護部 (7階病棟)
趣 味 スポーツ

慣れないことばかりで、迷惑をかけることが多いと思いますが、ありのままの自分で頑張りたいと思います。人と比べず、自分のペースで日々精進していきます。



看護師

<プロフィール>
(H 28.4.1 ~)

名 前 ^{はましま} 濱島 ^{あいこ} 愛子
所 属 看護部 (7階病棟)
趣 味 音楽鑑賞

看護師としての知識・技術を身につけ患者さんに寄り添った看護が提供できるように、日々努力していきたいと思っています。



看護師

<プロフィール>
(H 28.4.1 ~)

名 前 ^{うへだ} 肥田 ^{えりな} 笑利奈
所 属 看護部 (7階病棟)
趣 味 テレビ鑑賞

慣れない業務や看護師としての知識・技術の未熟さなど壁にぶつかることが多い毎日です。しかし、先輩方からの丁寧なご指導・サポートを受け支えられています。教えてもらったことを吸収していき、患者さんに安心して療養生活を過ごしてもらうため、笑顔を保ちつつ日々努力していきたいです。



薬剤師

<プロフィール>
(H 28.4.1 ~)

名 前 ^{にし} 西 ^{ゆりえ} 由梨絵
所 属 薬剤部 (薬剤師)
趣 味 ハレーボール

患者様の心に寄り添い、個々の患者様にとって最適な薬物療法を提供できる薬剤師を目指して、日々努力していきます。これからよろしくお願い致します。



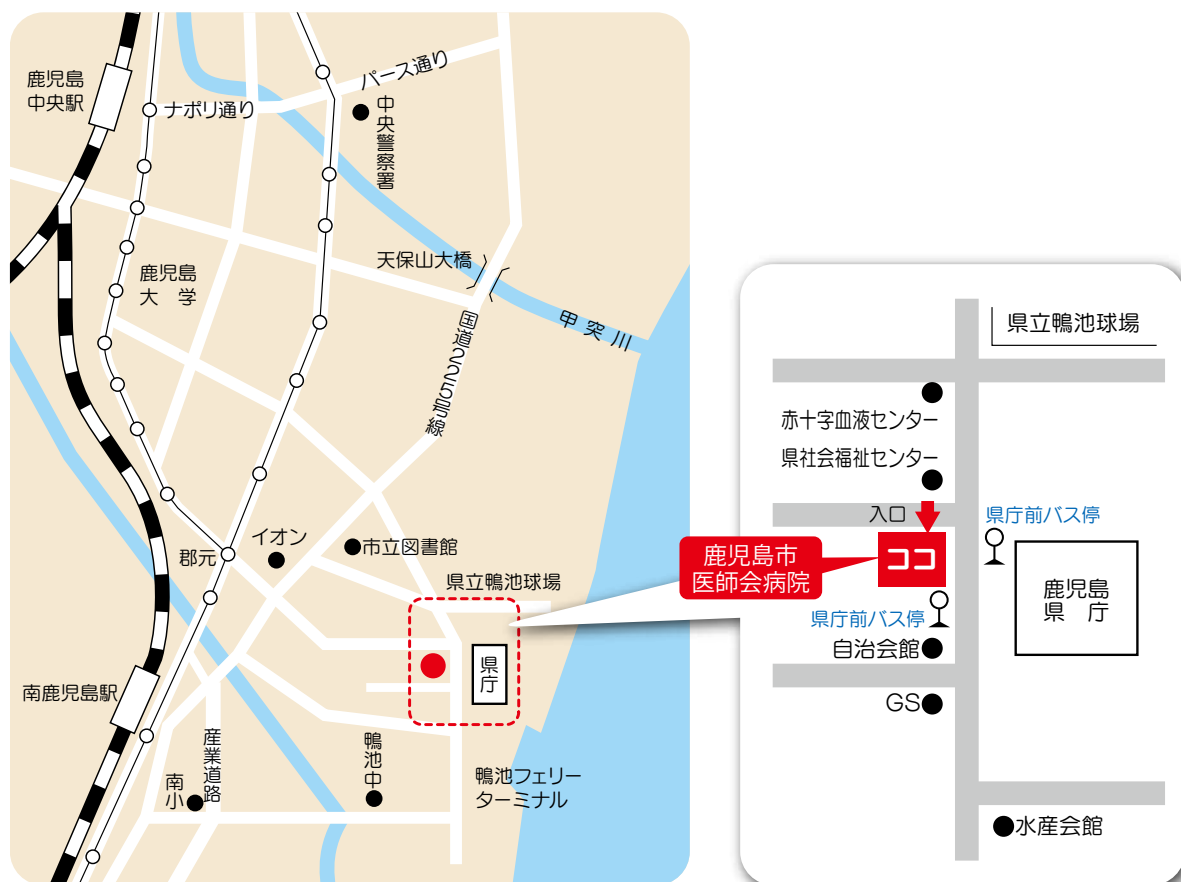
理学療法士

<プロフィール>
(H 28.4.1 ~)

名 前 ^{たに} 谷 ^{のどか} のどか
所 属 リハビリテーション室 (理学療法士)
趣 味 スポーツ、ドライブ

多くの事を学び、正確に吸収し、患者様の少しの変化を見逃さず臨機応変に対応できるように精一杯頑張っています。よろしくお願いします。

アクセスのご案内



車でのアクセス

鹿児島空港から 車で60分
 鹿児島ICから 車で15分
 鹿児島中央駅から 車で15分
 天文館から 車で15分

駐車場あり



バスでのアクセス

【県庁前】バス停下車/徒歩1分

（路線・時刻はお問い合わせください。）

鹿児島市交通局 ☎099-257-2111
 鹿児島交通㈱ ☎099-247-2333
 南国交通㈱ ☎099-255-2141



鹿児島市電をご利用の場合

【郡元】電車下車/徒歩10分

鹿児島市医師会病院 連携室だより No.27

創刊日：平成17年8月10日

発行月：平成28年6月

発行者：〒890-0064 鹿児島市鴨池新町7番1号

鹿児島市医師会病院 院長 園田 健

担当：医療連携・相談室

TEL：099-254-1125（代表）

FAX：099-254-1308（医療連携・相談室）

ホームページ：http://city.kagoshima.med.or.jp/kasiihp

ご意見などございましたら、お気軽にご連絡ください。